

TOPIC
01

学校に備品を寄付しました



母校の発展に寄与するという同窓会の目的に沿って、在校生の学校生活がより快適になるような支援活動を随時行っております。

最近ではコロナ禍ということもあり、同窓会活動は停滞気味ですが、令和元年度の同窓会総会では、体育館等で使用するジェットヒーター、部活動用の氷をストックする冷凍庫の寄付を決定しています。

引き続き母校発展に必要な支援を講じて参ります。

TOPIC
02

Webオープンキャンパス



コロナ禍もあり、なかなか母校のイベントに足を運ばず、最近の館山の状況がどうなっているのか気になる同窓生も数多くいると思います。

そんな同窓生の皆様どうぞご安心ください！現在、在校生が中学生向けに動画を作成し、WEBオープンキャンパスとしてHPで公開しています。

最新の状況や在校生の「ナマ声」を知ることができますので、是非右記QRコードからアクセスしてみてくださいはいかがでしょうか？

TOPIC
03

なつかしの先生を訪ねて

菅井 理恵先生

平成11年度～平成15年度在籍 保健室



当時在籍した先生へのアプローチは困難を極めるといふ、編集者泣かせのこの企画も早くも3回目。

在校中誰しもが一度はお世話になったであろう保健室。そんな我々を支えてくれた菅井理恵先生。現在、課長として勤務されている、宮城県教育庁特別支援教育課を訪問し、館山時代の思い出話を伺ってきました。

菅井先生は「大変だったけど楽しかった」と館山在職当時を振り返ります。当時の保健室は、毎日50人くらいの利用者があったとか。「毎日朝早くから7時間目が終わる頃まで生徒の相談に乗っていました。メンタル面での相談も多いため、館高生は何にでも一生懸命に取り組む真面目な生徒が多いなと感じていました。」まさに、

文武両道を標榜する館山ならではの問題なのでしょう。

また、保健室にお昼と放課後に必ず顔を出す保健委員会委員長、保健室の目の前で力尽きて寝てしまった生徒の話など、ここには掲載できないような当時の面白エピソードも数多く語ってくれました。

館山での日々は慌ただしくも濃厚・濃密な時間を過ごされた菅井先生。今こうして、我々が健康なのも菅井先生のお陰と改めて感謝申し上げます！ご多用中のところお時間いただき有り難うございました。



宮城県泉館山高等学校同窓会

〒981-3211 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘東1 宮城県泉館山高等学校内

Tel. 022-376-0975

Facebook. <http://www.facebook.com/groups/215259171873714/>最新情報、総会・懇親会の申し込み、および住所変更等のご連絡はこちらから▶
URL. <http://www.izumitateyama.jp/>

Abies

翠 縦 会 | 宮城県泉館山高等学校同窓会

2022.02.26





八巻 真哉
宮城県泉館山高等学校同窓会 会長

アンパンマンマーチが伝えるもの Self advocacy セルフアドボカシー

はじめに、日頃より同窓会活動への支援、ご理解に改めて深謝申し上げます。また、世界的パンデミックによる全ての方への心痛をお見舞いと共に、未来へ向けての人との繋がりを改めて同窓会活動を会員皆様と創ってまいります。

さて、このような社会状況で私からメッセージを申し上げることは、いささか控えたい思いもある一方で、今一度仲間と共に夢を忘れない思いを名曲と共に深めてみたい。

dreaming 夢を諦めないで

なんのために 生まれて
なにをして 生きるのか
なにが君の しあわせ
なにをして よろこぶ

人生は限りあるもの、だから今を生きる大切さを私は作詞やなせたかし先生の思いを強く感じた。

いずれ迎える社会に求められるものは、これまでの価値観とは異なり、心身の健康、社会的幸福、それぞれ自分の生き方を自ら選んでいく時代が加速していくことは間違いない。

そこで、次にある世界的キーワードを紹介する。~Self advocacy 自分の本当の言葉~国際連合を始め、WHOがWell-beingという、物理的幸福より、心身の健康、社会的に幸福であることなどを提唱している。

その中でも最も大切なキーワードがSelf advocacy、自らがどうありたいか、どう生きていきたいかをしっかり胸に留めるだけでなく、伝えていくことである。

現在、自らが受け身だけでなく発信していくことが求められるのは、より良く生きていく鍵かもしれない。

Leader リーダーに求められること

リーダーとは、どう定義できるだろう。皆さんの答えに間違いはありません。なぜなら、様々な考えがあつてこそ素敵

未来が見えるからです。

さて、これから求められるリーダーは、ただ単に全てを万能にできることではありません。時には、辛さも周囲に伝えられる勇気がある人こそ人をまとめていく素質があります。なぜなら、多種多様な考えを引き出す時弱さも必要なのです。

さらに、どんな自分と異なる考えであっても心の耳で受け止める、傾聴力が極めて必要になります。是非、これから生きていく皆さん、多様な考えに触れ、相手と同じ目線に立って耳を傾けてみてください。それぞれの思いや考えを尊重し、つなげていくことこそ生きるということではないでしょうか。そう、全ての人が、リーダーでありヒーローなのです。そして、どんなことがあっても生きてください。

私が会長としてできること、それはあなたの目を見て一緒に考え、喜び、悲しみ、そして思いっきり楽しむことです。人生はで夢を叶える人は、人を大切に、そして笑顔で思いっきりゲラゲラ笑って楽しむ人だから。

面白いことだーいすき！3歳の娘、国家公務員の妻と、のんびり、ちょっぴりクレイジーに過ごす私。

米国アップル社に世界で初めて視覚障害者として入社。さらに東京大学、文部科学省、厚生労働省アドバイザーとして活躍。東北大学在学中、失明を伴う難病に侵され多くを失う。公園で暮らす日々ののち、人に恵まれ、筑波大学、東京大学、米国シアトルワシントン大学の学びの後、医学、教育、工学、福祉の第一人者となる。大学入試センター試験（現、共通テスト）を試験管が読み上げる方法で受験し、障害特性で文字を読み書きに困難を抱える学生に進学の道を切り開く。これまで残したエッセイは国立国会図書館に収められ、医学会などから多数受賞。

現在、Covid19コロナウイルス感染症と向き合い、後に行われる世界会議でのスピーチに向けて奮闘。



澁谷 貴彦
宮城県泉館山高等学校 校長

校長あいさつ

泉館山高等学校同窓会のみなさま、はじめまして。昨年4月に古川高等学校よりまいりました澁谷と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り、本当にありがとうございます。

少子化の流れを受け、本校では令和2年度より再び1学級減が開始され、現在では第3学年のみが7学級、その他の学年は6学級となっています。同窓生のみなさまの中には9学級の学年を過ごされた方もいらっしゃるはずですので、隔世の感もあるかもしれません。ですが、そのような中でも生徒たちは「自律」「敬愛」「貢献」の校訓のもと、変わらず日々学習に、部活動等に励んでいます。

ここからは、学校の近況を少しご報告いたします。まずは昨年度卒業生の進路状況としては、東北大学7名をはじめとする国公立大学132名の合格者を出すなど、大いに健闘を見せてくれました。この原稿を作成している現在は、大学入学共通テストが終わり国公立大学の前期日程を間近に控えた時期ですが、3年生も最後まで日々集中して学習に取り組んでいるところです。



武山 弥琴
宮城県泉館山高等学校 第34回生
宮城大学事業構想学群
事業プランニング学類 3年

卒業してから3年の月日が流れようとしておりますが、泉館山高校での日々はどの瞬間を切り取ってもまさに「青春」でした。なぜそんなに心に刻まれているのか。それは泉館山高校の「ヒト」に理由があります。

まずは友人。泉館山高校の同級生は皆、根が真面目、でも行事や日々の生活は全力で楽しむ人たちでした。共に小テストに悲鳴を上げた日、文化祭準備で放課後残った日、その全部が「楽しかった」そう思える仲間がいました。

次に先生方。「泉館山高校の先生方はなんて生徒思いで、私たちのことを応援してくれていたのだろう」。大学に入ってやっと気づくことができました。勉強を聞けば、寒い廊下でも教えてくれて、悩みを相談すれば思っている以上のサ

部活動では、昨年度は県高校総体をはじめ多くの大会が中止となりましたが、今年度はほとんどの大会が何とか実施されました。その中で放送部（アナウンス部門）、囲碁将棋部（将棋・女子）が全国大会に出場し、家庭部が全国規模の高校生レシコンテスト決勝大会で優秀賞を受賞するなどの活躍を見せてくれました。また、吹奏楽部・陸上競技部・囲碁将棋部が東北大会に進出し、その他の各部門も県大会で健闘しました。

さて、令和5年度に本校は40周年を迎えることとなります。新型コロナウイルスの流行の先行きはまだまだ不透明ですが、生徒・保護者はもとより、同窓生のみなさまにも40周年をお祝いいただけるような社会状況になることを願っております。そして、将来が見通せない現代ではありますが、社会がどのように変化しようとも、その中で活躍していける柔軟さと力強さを兼ね備えた人間を育成していくよう、本校としてはこれからも努力してまいります。同窓生のみなさまには、今後とも本校の発展のためにご助力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ポートをくれる。本当にありがたいことだったと感じます。

青春を振り返ると少し鼻の奥がツンとしますが、そんな私も大学4年生となります。

大学生活はどうかと言われますと、3年生で人生を変える出来事がありました。とある教員との出会いです。その方の研究室に入り、課題をこなす日々。泉館山高校で過ごした青春は二度とないと思っていた私に人生二回目の青春が訪れました。毎日大変、でも研究室の仲間はみんなすごい人達で課題にも遊びにも全力。

ああ、よかった、宮城大学に来て。よかった、泉館山高校で頑張って勉強して。このまま青春が終わらないでほしい。そんな今の私の最大の願いで文章は終わらせていただきます。